

和地ひとみレポート No.378



令和3年度の国民健康保険税の税率等の改定（案） 都内でトップクラスの取組成果

■来年度、都に収める納付金が確定し

…日本全国の多くの自治体で財政状況が厳しくなっていた国民健康保険（以下、国保）は、平成30年度（2018年度）から広域化され（＝市区町村ではなく都道府県が財政運営をする）、国保の赤字補てんに各市区町村が一般財源を投入している問題の解消を目指しています。東大和市の国保の財政運営については、東京都が行っているため、国保の広域化後は毎年度、各市区町村の東京都への納付金を東京都が決定し通知しています。

…先日、東大和市が東京都に収める令和3年度の国民健康事業納付金と東京都が提示した納付金に対して必要とされる東大和市の標準保険料率が下記の通り算定されたことを受け、市は来年度の国保税の税率の見直しの案を作成。1月25日に市議会全員協議会が開催され、その内容が示されました。

■東大和市の国保税率改定に対する考え方

…前述のとおり、国保の財政状況は厳しい状況ですが、全国的に見ると、広域化をする以前から国保料（税）を大幅に値上げ改定して赤字を解消している市区町村もあり、それらの市区町村の国保料（税）の額は東大和市と比較するとかなり高額となっています。一方で、現在でも国保の赤字補てんに一般財源を繰り入れている市区町村は全国の約2割と言われており、東大和市もその一つ。よってこの赤字補てんは早期に解消しなければならない課題です。

…一方で、「医療保険の最後の砦」、「セーフティネット」と言われている国保料（税）を急激に上げるわけにはいきません。よって東大和市では、急激な保険料（税）値上げの激変緩和のために広域化に伴い国が用意した特例基金のある令和5年度までの6年間をかけて、赤字補てん解消に向けた税率の見直しをすることとしており、広域化後、東大和市の国保税率は、H30年度から前年度比で6.25%、H31年度は6.08%、令和2年度は5.45%と少しずつ前年度より国保税率を増改定しています。

◇東大和市が都に納める令和3年度国保事業費納付金

◇納付金に対して必要とされる市の標準保険料率（都提示）

	医療分		後期高齢者支援金分		介護納付金分	
	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割
① 東京都の示したR3年度標準保険料率	6.32%	37,130円	2.40%	13,763円	2.38%	17,369円
②現在の東大和市の保険料率等	6.57%	31,700円	2.05%	10,100円	1.93%	11,000円
①の②との比較（≒差）	▲0.25%	+5,430円	+0.35%	+3,663円	+0.45%	+6,369円

■解消すべき赤字補てんの繰入額は

…東京都の国保運営方針で示されている解消すべき赤字補てんの繰入額は「本来必要とされる保険税の負担抑制や葬祭費、出産育児一時金の保険給付における保険者負担分等のために、一般会計から法定外に繰り入れる額」と定義されています。

…国が示した確定計数をもとに東京都が算定した前述の東大和市の令和3年度の納付金額と、現在の東大和市の国保税率（＝国保税率を見直さない場合）で市が来年度の国保の財政状況を試算したところ、不足額、すなわち解消すべき赤字補てんの繰入額は以下のとおり約2億5,088万円となったとのことです。

…また、歳出の保険給付については、新型コロナウイルス感染症の影響は加味せず、過去の医療費などの実績を参考に試算し、歳入の保険税についても、新型コロナウイルスの影響による所得の減少なども加味していないとのこと。よって、実際の来年度の東大和市の国保財政は、この試算より厳しくなることも考えられますが、逆に考えれば、新型コロナウイルスの影響がなくても東大和市の国保財政は一般会計からの赤字補てんが2億円以上必要な厳しい状況とも言えると思います。

【市が試算した令和3年度の見込み】

◆歳入：合計 82億 7,767万 4,000円

- ①都からの交付金等の公費 58億 2,048万 8,000円
- ②保険税（現年分） 17億 2,545万 8,000円
- ③保険税（過年度分） 6,133万 9,000円
- ④一般会計からの繰入金等（法廷内の繰入金） 6億 7,038万 9,000円

◆歳出：合計 85億 2,855万 8,000円

- ①保険給付 57億 3,310万円
- ②都への納付金等 24億 6,767万 9,000円
- ③保健事業 1億 6,021万 6,000円
- ④その他 1億 6,756万 3,000円

◆歳入と歳出から算出した不足額：2億 5,088万 4,000円

（裏面に続く）

■来年度は5.18%の増改定

…この不足額約2億5,088万円を一気に国保税率の改訂に反映させると、約15%という大きな増改定を行わなければなりません。しかし、前述のとおり東大和市では令和5年度までの赤字補てん解消を目指して国保税率を見直すこととしているため、試算で出た不足額を令和5年度までの残期間＝3年で割ったものを1年分の不足額として国保税率の見直しに反映させます。その結果、来年度の国保税率については、5.18%の増改定となるとの案が示されました。

…また、被保険者均等割(＝応益割)の税額については、近隣4市の平均額を参考に東大和市では改定することとしていますが、東大和市は下記の通り小平市について低金額というのが実情です。

【令和2年度の隣接市の被保険者均等割計】 (均等割計＝基礎+後期+介護)

市	均等割計
東村山市	61,800円
立川市	58,300円
武蔵村山市	56,700円
東大和市	52,800円
小平市	52,600円
上記、隣接4市平均	57,350円

…この被保険者均等割(＝応益割)については、所得が一定基準以下の世帯を対象とし、7割、5割、2割の軽減制度がありますが、国の税制改正により、基礎控除額が増加したため、課税対象となる所得が少なくなるため(課税所得の減少)、新たに、軽減制度の対象となる世帯数や軽減の割合が増加する世帯も生じる見込みです。そのような状況も鑑み、東大和市では、応能割(所得割)と応益割の割合については、現行より応能割の比率を0.1%上げる見直し案を考えています。

応能割(所得割)63.5%：応益割(均等割)36.5%

■都内でもトップクラスの成果により

…国は健康保険に交付金を出していますが、医療費適正化や予防・健康づくりなどの保険者(国保の場合は市区町村が保険者)の取組状況を、様々な指標で評価する「保険者努力支援制度」というものを平成30年度から設け、交付金に反映させています。特に財政状況の悪い国保には特有の指標も設けられており、保険者の取組を評価し点数を付けています。また、その点数はプラスだけではなく、努力していない項目についてはマイナスもされ、その合計点数により交付金の額が増減するため、点数が高いほど国からの交付金が増えることになり、前述の試算の不足額の削減にもつながります。

…東大和市でも、広域化がスタートした平成30年度から様々な保険者努力に取組んでいます。令和3年度の交付金の確定のための指標の中には、東京都内の自治体の中でトップクラスとなる項目があったとのことです。

…その一つが「ジェネリック医薬品(後発医薬品)の使用割合」で、下記のとおり東京都内の区市では1位(令和2年度)になっており、この指標の満点は130点に対し、東大和市は110点を獲得しています。

【ジェネリック医薬品の使用割合】東大和市:81.9%

全国トップの区市:久慈市(岩手県):90.5%

全国最下位の区市:京丹後市(京都府):58.3%

…また、東京都の国民健康保険財政安定化支援方針によると、東京都の国保料(税)の現年分の収納率は平成9年度から平成26年度まで全国最下位とのこと。必要な収入額を得られないことも財政状況の悪化につながっているため、収納率の向上という指標も大切な指標とされています。(平成26年度の全国平均収納率は90.95%のところ、東京都の平成27年度の収納率は前年度比0.7%増だが87.44%)

…東大和市の直近の過去3年の収納率は94.8%と高く、保険者努力支援制度の指標「収納率向上に関する取組の実施状況」でも、100点満点中50点と他自治体と比較して高得点となっています。

…このように様々な指標により出された令和3年度の東大和市の合計点数は、初めて26市中1位、東京都内でも2位という結果になり交付金確保のための大きな成果を出すことができています。

【これまでの東大和市の保険者努力支援制度の点数】

	得点	満点	26市の中の順位
H30年度	306点	790点	18位
R元年度	485点	880点	6位
R2年度	472点	995点	6位
R3年度	567点	1000点	1位

■市独自の取組や新たな取組も

…また、来年度の国保税率の急激な増額を抑制するために、市は平成31年度末の基金残高1億6,738万円も活用する予定です。その活用方法は、新型コロナウイルス感染症の影響による所得減少により、保険税収が減少する分の補てんに1億3,000万円。収入の減少が見込まれる世帯に対する市独自(26市で東大和市のみ)の減免に対し2,600万円。また、前述の税制改正による課税所得の減少の影響に対し1,138万円を充当するとのことです。

…また、現在も実施している“糖尿病重症化予防事業”や“独居高齢者に特化した特定健康診査の受診勧奨対策”、“残薬バック”の活用などの保険事業に加え、来年度からは新たに人間ドック、脳ドックの受診料助成申請の際に結果の提出を求め、特定健康診査受診の結果と同等のデータとして保険事業の対象者抽出に活用する保険者努力も実施するとのことです。

…まだ、国保の赤字補てんに一般財源を繰入れている東大和市ですが、取組みの成果は出ています。計画通り令和5年度までに赤字繰入を解消できるよう、さらなる取組みを進めてほしいと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。学校外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102